



2020 労働条件闘争 妥結集約(3月19日現在)

概況

- 第2のヤマ場終了(3月19日10時)時点で、正社員組合員は160組合(約24万人)、パートタイム組合員は99組合(約43万人)、契約社員組合員は35組合(約2万人)が妥結した。組合員数で約69万人の賃上げが決まった。
- 第1のヤマ場終了以降、新型コロナウイルス感染症がさらに国民生活に大きな影響を及ぼし、労使が感染予防、事業継続等に腐心する中で、粘り強く冷静に交渉を進め、労働者の生活の安心と日本経済の底支えのため、引き続き社会的責任を果たす内容の合意を得ることができた。
- 正社員の賃金引き上げ(ベア等)は単純平均で2,216円(0.82%)であり、昨年同時期の1,911円(0.66%)を上回った。内需を中心とする流通部門、総合サービス部門において多くの組合が前年を上回り、2,000円を超えた組合が57組合中26組合とほぼ半数となっている。製造産業部門においても1,500円を超える賃金引き上げを獲得した組合が一定数あった。妥結総合計(制度昇給、ベア等込)では、前年以上の金額を獲得できた組合が約6割となっている。
- パートタイマーの一人あたりの平均引き上げ率(制度昇給、ベア等込)は2.92%で昨年に続き高い引き上げ率となり、正社員の2.40%を超え、5年連続正社員を上回ることとなった。契約社員も2.93%と正社員を上回っている。

1. 正社員(フルタイム)組合員の妥結状況

- ①160組合の妥結総合計(制度昇給、ベア等込)は、単純平均で7,080円(2.48%)である。前年と比較できる157組合の約6割が前年以上の妥結総合計額を獲得し、単純平均で前年を563円(0.22%)上回っている。
- ②賃金体系維持が明確な91組合の賃金引き上げ分(ベア等)の単純平均は2,216円(0.82%)であり、昨年同時期の1,911円(0.66%)を上回った。うち、前年と比較できる88組合の単純平均は前年を605円(0.27%)上回る。業種別では、ドラッグストア(11組合妥結)が昨年比1,078円(0.39%)、家電量販店(7組合妥結)が昨年比1,047円(0.40%)プラスの賃上げを獲得している。
- ③規模別では、300人未満の組合の妥結総合計額、賃金引き上げ分(ベア等)の単純平均は、いずれも300人以上の組合を上回っており、中小組合が健闘している流れが継続している。
- ④年間一時金は37組合で妥結し、平均で1,135,020円(3.71ヵ月)となり、前年と比較できる32組合で0.08ヵ月上回っている。
- ⑤高卒初任賃金は51組合で単純平均3,932円、大卒初任賃金は59組合で単純平均3,392円の引き上げを獲得した。昨年同時期の引き上げ額(高卒2,428円、大卒2,389円)を1,000円以上上回る。また企業内最低賃金は62組合で単純平均3,854円の引き上げを獲得し、妥結平均は171,651円となった。

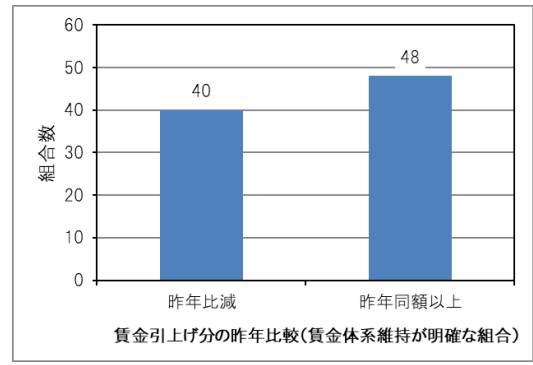
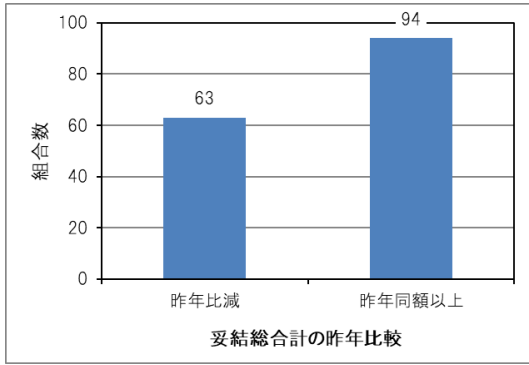
【妥結状況】

		総合計(制度昇給、ベア等込)				賃金体系維持が明確な組合の賃金引き上げ分(ベア等)の集計					
		組合数 人数	要求		妥結		組合数 人数	要求		妥結	
			額(円)	率(%)	額(円)	率(%)		額(円)	率(%)	額(円)	率(%)
単純平均	全体計	160組合	9,431	3.32	7,080	2.48	91組合	4,533	1.62	2,216	0.82
	300人以上	118組合	9,365	3.26	7,002	2.41	73組合	4,336	1.49	2,037	0.70
	300人未満	42組合	9,617	3.49	7,301	2.66	18組合	5,334	2.14	2,943	1.32
加重平均	全体計	243,650人	9,484	3.17	7,245	2.40	152,837人	4,269	1.42	2,073	0.70
	300人以上	237,540人	9,469	3.16	7,242	2.40	150,049人	4,247	1.41	2,058	0.69
	300人未満	6,110人	10,055	3.65	7,353	2.72	2,788人	5,445	2.22	2,866	1.38

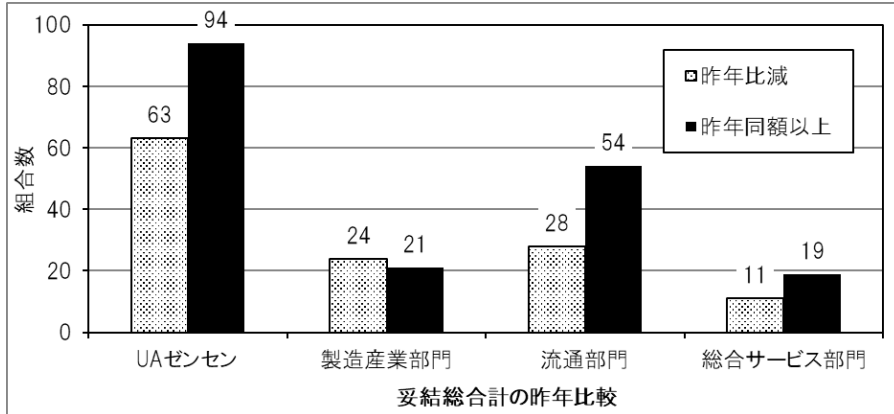
【前年同組合比較(比較可能な157組合の集計)】

		総合計(制度昇給、ベア等込)				賃金体系維持が明確な組合の賃金引き上げ分(ベア等)の集計					
		組合数 人数	2020妥結		前年差		組合数 人数	2020妥結		前年差	
			額(円)	率(%)	額(円)	率(%)		額(円)	率(%)	額(円)	率(%)
単純平均	全体計	157組合	7,073	2.48	563	0.22	88組合	2,228	0.83	605	0.27
	製造産業部門	45組合	7,174	2.57	464	0.27	33組合	1,916	0.81	516	0.27
	流通部門	82組合	6,569	2.30	482	0.16	41組合	1,924	0.67	208	0.08
	総合サービス部門	30組合	8,300	2.82	932	0.32	14組合	3,853	1.33	932	0.32
加重平均	全体計	236,726人	7,222	2.40	381	0.12	148,641人	2,086	0.71	315	0.12
	製造産業部門	61,367人	7,940	2.53	-26	0.00	54,722人	1,592	0.57	-57	0.02
	流通部門	144,709人	6,750	2.28	452	0.14	78,495人	2,105	0.69	263	0.09
	総合サービス部門	30,650人	8,014	2.73	861	0.27	15,424人	3,746	1.27	1,906	0.63

妥結総合計と賃金引き上げ分の昨年比較



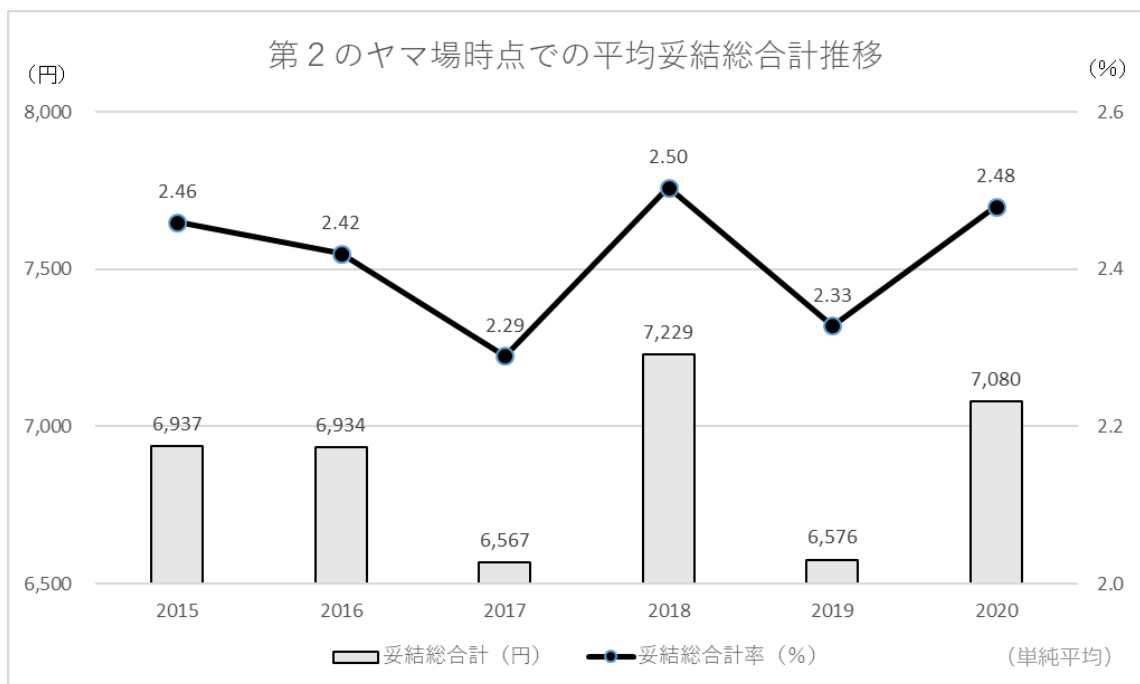
《参考》【妥結総合計の部門別昨年比較】



《参考》【前年同組合比較で妥結額が大きく増加した業種】

(単位 円(%))

			総合計				
			組合数	2020年		前年差	
				額	率	額	率
単純平均	流通部門	ドラッグストア	11	7,636	2.63	1,078	0.39
		家電量販店	7	7,248	2.50	1,047	0.40



2. 短時間（パートタイム）組合員の妥結状況

- ①99組合の時間当たり賃金の妥結総合計（制度昇給、ベア等込）の単純平均は31.9円（3.12%）の引き上げとなっており、昨年同時期の29.7円（2.95%）を上回った。前年と比較できる91組合の単純平均は前年を2.6円（0.20%）上回る。
- ②パートタイマーと正社員ともに妥結した66組合のうち、正社員を上回る賃上げ率を獲得した組合が約77%（前年同時点75%）となっている。また組合員一人あたりの平均引き上げ率（制度昇給、ベア等込）は2.92%で正社員の2.40%を越え、5年連続上回ることとなった。
- ③29組合が企業内最低賃金の引き上げを行い、平均引き上げ額は15円となった。

【妥結状況】

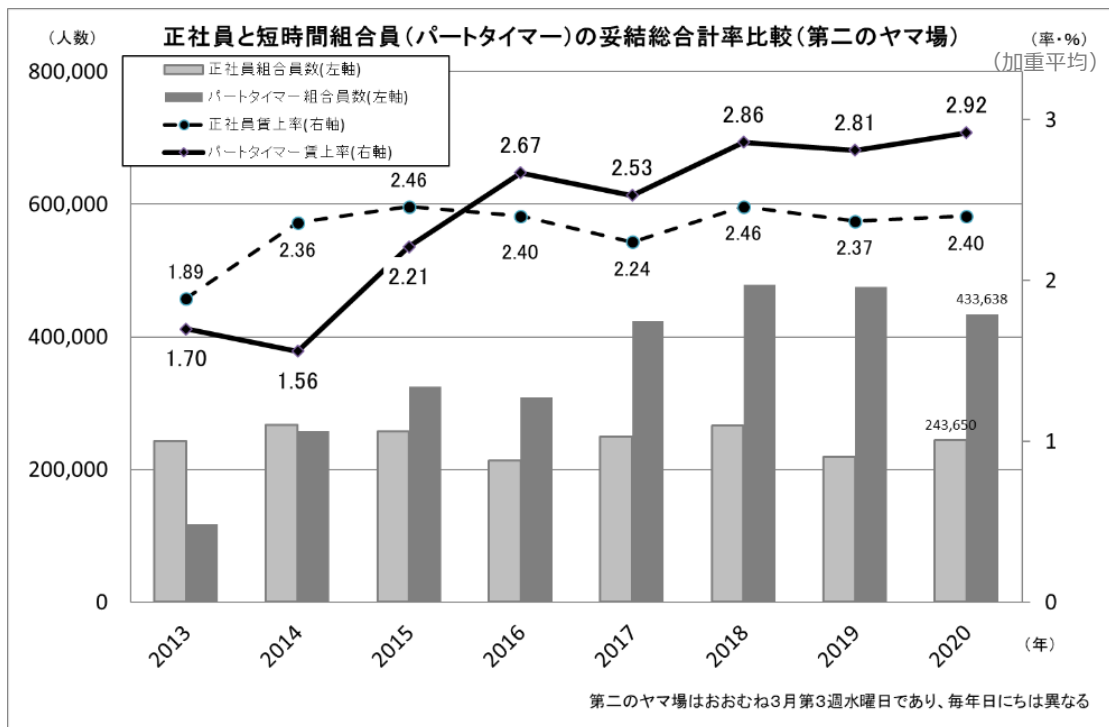
	総合計(制度昇給、ベア等込)				
	組合数 人数	2020要求		2020妥結	
		額(円)	率(%)	額(円)	率(%)
単純平均	99組合	47.6	4.64	31.9	3.12
加重平均	433,638人	41.8	4.19	29.2	2.92

【前年同組合比較（比較可能な91組合の集計）】

	総合計(制度昇給、ベア等込)				
	組合数 人数	2020妥結		妥結同組合前年比	
		額(円)	率(%)	額(円)	率(%)
単純平均	91組合	31.9	3.12	2.6	0.20
加重平均	406,420人	28.6	2.85	1.6	0.07

【正社員との総合計妥結率の比較（パートタイマーと正社員ともに妥結した66組合）】

正社員を上回る率で妥結	51組合	77%
正社員と同率で妥結	0組合	0%
正社員を下回る率で妥結	15組合	23%
合計	66組合	100%



3. 契約社員組合員の妥結状況

- ①35組合の妥結総合計（制度昇給、ベア等込）は単純平均で5,959円（2.90%）の引き上げとなっている。前年と比較できる34組合の単純平均は前年を1,805円（0.54%）上回る。
- ②組合員一人あたりの平均引き上げ率（制度昇給、ベア等込）は2.93%で正社員の2.40%を越えている。

4. 働き方の改善等の進捗状況

第1のヤマ場終了時の妥結状況（3月12日発表）を参照

以上

【お問い合わせ】
U A ゼンセン
企画・情報局(鈴木)
tel 03-3288-3520